

進路指導室から 第290号

はじめに

7月21日(火)は「土用の丑の日」でした。「土用」は「土旺用事」とも呼ばれますが、陰陽五行思想に由来しています。陰陽五行思想では、自然界は木・火・土・金・水の5つの要素から成り立っていると考えます。季節もこの5つの要素に当てはめて、春は木、夏は火、秋は金、冬は水の気と考えられました。そして、土は季節の変わり目である立春、立夏、立秋、立冬の前18日間に割り当てられました。この時季は土の気が盛んになるとされ、それが「土旺用事」です。また、昔から日にちには十二支が割り当てられており、土用の約18日間にめぐってくる丑の日を「土用の丑の日」といいます。

今では「土用の丑の日」には、鰻を食べる風習が広がっていますが、夏バテ防止や疲労回復のため、「土用の丑の日」に薬草を入れた風呂に入る風習があります。これを「丑湯」といいます。ドクダミや緑茶などさまざまな薬草が用いられましたが、江戸時代は桃の葉を入れた桃湯を「丑湯」としていたそうです。6月から学校が再開されましたが、少し疲れを感じています。心身を整え、この夏を乗り越えることができたらと思っています。

「合格者体験記」について

本校では毎年、「合格者体験記」を作成しています。合格に至るまでの過程は、一人の「物語」があります。生徒たちには、自らの今後の課題について考えてもらえればと思っています。

以下の生徒は、この3月に卒業した71回生の「合格者体験記」です。

なお、①～⑨の項目は次のとおりです。

〔項目〕

- ① 進路決定の時期・方法
- ② 1・2年次の学習方法(部活動・生徒会活動との両立について)
- ③ 1・2年次の学習方法(その他)
- ④ 3年次前期および夏休みの学習計画・実践・反省について
- ⑤ 3年次後期および冬休みの学習計画・実践・反省について
- ⑥ 補習授業・小論文指導について
- ⑦ 模擬試験について
- ⑧ 3年次の学習方法(その他)
- ⑨ 後輩へのアドバイス



Aさん(令和2年3月卒) <<東京大学 理科一類>>

…勉強のために何かを犠牲にするのではなく、すべての事に全力で取り組む事でメリハリが生まれます。

- ① 1年生の頃に東大を目指し始め、そのまま受験する事にしました。具体的に何がしたいのか決まっていなかったので、入学時に学部学科を決める必要のない東大が魅力的でした。日本一の大学へのあこがれもあり、入れるものなら入りたい!という気持ちでいました。
- ② 【陸上競技部】
部活は休まずにしっかりと取り組みました。平日は3時間勉強出来てはいなかったけど、2～2.5時間を集中して取り組みました。部活がない日は塾に行ったりして、普段出来ていない分を補うつもりで勉強と部活のメリハリをつけて両方とも全力で取り組みました。
- ③ 週課題は出来るだけ平日のうちに終わらせて、休日は数学の+αで演習をしたり、国語・英語の予習や復習をしっかりとやったりしました。受験には必要のない教科の考査もきちんと対策をして、良い点が取れるよう取り組んでいました。
- ④ インターハイまでは、周りの人に置いて行かれないように出来るだけ勉強時間を確保してメリハリをつけて集中しました。あまり英語をやっていなかった結果、秋のオープン模試で不十分な点数しか取れず、ちょっと焦りました。
- ⑤ センター試験対策は年明けから始めました。センターの理科・数学は、ほぼ学校の授業だけで、放課後は二次対策をしていました。一番必要な国語は、二日に1度、80分間の演習問題に取り組みました。部活を引退して、しっかり時間を取れるようになったので、全教科をバランスよく、毎日触れるようにしました。
- ⑥ 土曜補習などには、ほとんどで出ていませんでした。夏は部活と相談しながら、「難関対策」のみ出席しました。国語は個人添削を受けました。自分に対するピンポイントなアドバイスが良かったです。
- ⑦ 受験したその日に復習するようになっていました。志望校のオープン模試が一番きちんと志望校対策に役立つので、1度受けて、時間を空けてもう一度解いてみるようになっていました。前日は早めに寝て、しっかりと集中出来る環境作りをしました。

- ⑧ 過去問は早めに始める事で、自分の弱点をなくすための問題演習の時間が確保出来るし、いろいろな単元がバランスよく出題されているので、学力維持のためにも役立つと思います。
- ⑨ 毎日、コツコツと向上心を持ってやっていけば、いつか成績が急にようになる事があるし、やれるだけやれば、「なんとかなるでしょ」と思えるようになります。適度に自分にプレッシャーをかける事で、良い刺激になって、やる気にもなります。勉強のために何かを犠牲にするのではなく、すべての事に全力で取り組む事でメリハリが生まれるし、互いに良い影響を及ぼしあってくれます。また、受験の時の緊張が、自分にとってのベストな状態を生んでくれます。なので、途中で諦めたりせず、最後まで自分の目標に向かって頑張ってください。

Bさん（令和2年3月卒）《京都大学 工学部 電気電子工学科》

…周りの人への感謝の気持ちを忘れず、絶対に諦めない気持ちを持って頑張ってください！

- ① 高校2年生の時に、先生に「どうか」と言われ、興味を持ち、自分で京大について調べていくうちに行きたいと思うようになりました。また、修学旅行でAIやVRといったものについて知り、体験した事で、工学部の電気電子工で勉強したいと思いました。
- ② **【器楽部】**
1、2年生の時は、部活中心だったと思います。両立出来ていたか、と言われると出来てなかったと思います。ただ、授業をしっかり受ける事と、提出物を出す事だけはしていました。
- ④ 夏休み前半まで部活があったので、前期から夏休みまではどうやって時間を取るかを考え、朝や電車の中といった隙間時間に勉強するようにしました。私は英語が苦手だったので、英語の長文はほぼ毎日読むようにしていました。数Ⅲは受験日までの演習時間が短いので、もっとこの時期に問題を解いておけば良かったと思います。
- ⑤ 後期は主に過去問や前期試験の類似問題を解きました。センター試験は大学の配点の中で社会が大きかったので、社会を特に勉強しました。二次の過去問を解くとき、時間を計って問題を解く事を始めるのが遅かったので、「時間が足りない」と最後の方で焦ってしまいました。早いうちから時間を計っておけば良かったと思いました。
- ⑥ 私は物理と地理の補習を受けました。補習は授業で聞けなかった事や演習が出来るのでとても役に立ったと思います。
- ⑦ 模擬試験は自分の苦手な教科や分野を知るのにとっても役立ったと思います。間違えた問題は「何を間違えたのか」や「何が分かっていなかったのか」を考えるようにしました。
- ⑨ 睡眠時間はしっかり取った方が良いです。遅くまで起きていて学校の授業中が眠くて集中出来ないともったいないので、自分に合った睡眠時間を取ると良いと思いました。あと、受験には家族や先生方、友達、先輩後輩といった、たくさんの方々から力をもらったり、迷惑をかけたりします。私はもっと周りの人を大切にしないとけなな、と感じているので、感謝の気持ちを忘れない事は大切です。最後に応援してくださってありがとうございました。絶対に諦めない気持ちを持って頑張ってください。

Cさん（令和2年3月卒）《九州大学 法学部》

…周りの人へ感謝をしながら、「受験は団体戦」で頑張ってください！

- ① 1年生の最初は理系に進むつもりだったので、薬学部を志望していました。しかし、文系科目の方が好きだったので文系に進み、大阪大学や神戸大学と迷いながら3年生の夏にオープンキャンパスに行って決めました。
- ② **【硬式テニス部】**
平日の部活後は、小テストの勉強など最低限の勉強をし、土日に週課題や予習、復習をまとめて行うようにする事で、部活動を休まず、勉強と両立出来るように頑張りました。
- ③ 私はとにかく睡眠時間が長かったので、その分、授業に集中し、隙間時間を使って勉強するようにしていました。週課題は、最低2回は解き直すようにしました。
- ④ 部活を引退するまでは授業の予習と復習だけしか十分に勉強出来ませんでした。夏休みは基本を完璧にするようにしました。
- ⑤ 二次対策が中心でした。冬休みに入ってからセンター対策に切り替えました。私は社会科目が苦手だったので、社会科目の勉強時間を他の科目の勉強時間より多めにしました。
- ⑥ 1年生の時から補習授業には積極的に参加しました。特に3年生の夏休みの補習が役立ちました。小論文については、前期試験が終わってから勉強を始めました。私は総合問題が後期試験だったので、1日に過去問1年分と他大学の過去問2～3本を解きました。
- ⑦ 模試は復習に時間をかけるようにしました。模試を受けた直後、自分の答案が返却されたとき、長期休暇、に計3回解き直すようにしました。

- ⑧ 私は塾や通信講座を利用していなかったのですが、学校の先生方にたくさんお世話になりました。追加でプリントをくださったり、添削指導をしてくださったりしました。先生方の支えがなかったら、合格出来ていなかったと思います。
- ⑨ 私は、クラスの皆が勉強している姿を見て、私も頑張ろう、と思う事が出来たので「受験は団体戦」で頑張りたいです。また、先生方にも、たくさん励ましてもらいました。周りの人への感謝でいっぱいです。

Dさん（令和2年3月卒）《一橋大学 法学部 法律学科》

…「**受験は団体戦**」です。感謝の気持ちを忘れずに、強い気持ちを持って、最後まで一生懸命全力を出し切ってください。応援しています！

- ① 第一志望を一橋大学に決定したのは1年生の夏頃です。進路学習を通して、法学に興味を持ち、各大学の法学部を調べてみると、教授との距離が近く、少人数で研究ゼミが行われ、学風の自由度が高く、高い意識を持った学生との意見交換等が出来る事が特徴的な一橋大学に魅力を感じました。
- ② **【硬式野球部】**
部活は正直に言って、超ハードでした。土日はほぼ毎週練習試合で、練習メニューもキツイものばかりで、勉強と部活の両立は本当に大変でした。部活に時間を取られていたので、他の基高生よりも学習時間が少なかったため、毎週出される週課題だけは、人一倍丁寧に行いました。また、授業も主体的に考え、集中して取り組めたと思います。また、野球部では自分に厳しい仲間が多く、彼らにも良い刺激を受け、部活と勉強の両方に全力で取り組み続ける事が出来ました。受験期は部活で培った精神力にも支えられて、受験勉強を頑張り続けられたとも思います。
- ④ 正直、部活引退（7月上旬）までは、部活を優先させていました。学習面は、やるべき事の最低限の事はやっていたつもりです（英語は長文の読み込み、数学は既習分野の演習）。また、地歴公民のインプットを集中的に行いました。特に日本史は論述があった事もあり、7月までには全範囲を先取りで学習しました。
- ⑤ 部活引退とともに学習時間がかなり取れるようになったので、未習分野はインプット、既習分野は演習を徹底的に行いました。時間配分や見直しなどを重視しつつ、かなりの数の問題を解いて、実力と自信をつけていきました。特に、赤本をやり込み、センター試験は10年（2019～2010）、二次試験は20年（2019～2010）分取り組みました。
- ⑥ 英作文、日本史論述、数学記述答案、国語記述答案の添削を先生方に行っていただき、丁寧で的確なアドバイスをいただきました。この添削指導なくして、自分の合格はありえなかったと思います。また、夏休みとセンター試験後に行われた板倉校長の補習は本当に役立ちました。
- ⑦ 模試の点数や志望校判定は本当に気にし過ぎない方が良いと思います。実際、一橋大学の志望校判定でB以上を1回も取れなかった自分でも、合格する事が出来ました。そんな事よりも、解けなかった問題の復習の方がよっぽど大事だと思います。模試は見直しをやってこそ有意義なものとなります。やりっ放しは全く力がつきません。
- ⑧ 参考書や問題集は買い過ぎない事、一冊をボロボロになるまでやり込む事が自分の自信になると思います。塾の講座はやみくもに何でもかんでも取るのではなく、自分の苦手分野や強くしたい分野を明確にした上で、必要な分だけを取るべきです。大学受験は一夜漬けでは無理です。日頃からコツコツやってきた人が最後は勝つと思います。
- ⑨ 大学受験を通して「**受験は団体戦**」である事を痛感しました。添削指導や進路相談をしてくださる先生方、ともに励まし合える友人、いつもそばで見守ってくれた家族など、多くの人に様々な面で支えられて合格する事が出来ました。感謝の気持ちを忘れずに一生懸命頑張りたいです。また、何が何でも自分の第一志望を貫き通したいです。私はセンターリサーチがD判定で、定員155人に対して席次210位でしたが、一橋大学へ行って学びたいという気持ちだけは、絶対に誰にも負けていなかったと思うし、その気持ちがあったからこそ、合格する事が出来たと思っています。自分を信じ、強い気持ちを持って最後まで一生懸命全力を出し切ってください。応援しています。

Eさん（令和2年3月卒）《広島大学 工学部 第四類》

…**基町高校にはすばらしい仲間がいます。一人で抱え込まず、周りの人から刺激をもらって頑張ってください。**

- ① センター試験後に、自己採点結果によるセンターリサーチの判定と、志望内順位を踏まえて最終的に判断しました。
- ② **【バドミントン部】**
平日は部活が終わったらすぐに塾へ行き、自習をしていました。土日は学校の教室開放を利用して、部活前後に勉強していました。
- ③ 1年生の頃、夜更かしをして、午後の授業で眠くなってしまい、その結果また勉強をする必要が生じて、夜遅くま

で勉強する、という悪循環になってしまっていました。夜更かし（勉強）よりも、睡眠+授業集中の方が、効率が良いと思います。

- ④ 授業でならった事のインプットと、ひたすら演習をして、二次試験で必要な科目は入試レベルの問題まで解けるようになるよう、努力しました。私は前期試験直前に英作文を添削してもらっていましたが、この時期から取り組んでいた友人もいたので、もっと早くから英作文に取り組んでおけばよかったと後悔しています。
- ⑤ 授業も演習が増え、とにかく演習したものをその日のうちに頭に入れて、試験の日まで頭に残るよう意識しながら勉強をしました。
- ⑥ 補習には出来るだけ参加しました。朝早起きが苦手だったので、補習のために起きて、学校で勉強するというサイクルを作っていました。
- ⑦ 正直言うと、1、2年生の頃はあまり復習していませんでした。3年生になると模試が増え、1、2年生の頃より大変になります。分からなかった単語には色ペンで線を引き、昼ご飯を食べる時に解答解説をながめていました。
- ⑧ 修学旅行明けから前期合格発表まで、1日も欠かす事なくやっていた事があります。それは、1日の目標と、する事（課題等）を朝決めて、夜寝る前に改善点を書き挙げて次の日に生かす、という事です。
- ⑨ 自分が勉強しやすい環境、場所を早い時期に見つけて、自分の集中力の続く限り机に向かって勉強する事が大切だと思います。そして、基町高校には素晴らしい仲間がいます。朝早くから学校に登校し、放課後学校が閉まるギリギリまで教室に残って勉強している人がクラスに数人いました。センター前後や前期試験前など、不安な時期も「クラスメイトで自分よりも努力している人がいるから、自分も頑張ろう」と思って努力する事が出来ました。また、友達と会話をするだけでも気分転換になり、集中出来るようになりました。一人で抱え込まず、周りの人から刺激をもらって頑張ってください。

Fさん（令和2年3月卒）《県立広島大学 保健福祉学部 人間福祉学科》

…努力する事は誰にでも出来ますが、それを継続する事は思った以上に難しい事です。自分を信じて、粘り強く取り組んでください！

- ① センター試験後の判定で決めました。学部は絶対に変えない！と決めていたので、大学のレベルではなく学部の内容で決めました。
- ② 【フォークソング部】
基本的には両立のしやすい部活でしたが、行事やイベントの前は練習だけでなく仕事もあったので、課題しか出来ない事もありました。最低でも1日3時間は必ず勉強する！と決め、朝や休み時間に集中して少しずつ勉強していました。
- ④ 苦手な英語を克服するのと、1年生からの復習を主にしていました。特に社会は覚える量が多かったので、夏休みを利用して復習し、覚え直しました。苦手な教科を克服するのは思ったより大変だったので、その都度、潰しておくべきだったと反省しました。
- ⑤ センター試験対策を中心にしていました。過去問や問題集を解いて、間違えた箇所を教科書やノートを使って復習しました。
- ⑥ 前期も後期も小論文だったので、センター試験後はひたすら小論文を書いていました。1日に3枚程度、担当の先生に見てもらい、見直しを必ず行いました。書くだけでなく、本を読んで知識を増やしたり、語彙力を上げたりもしました。面接は、過去聞かれた内容を整理し、大まかに言う内容をまとめました。練習は5回程度行いました。
- ⑦ 模試は復習を大事にしていました。分からなかった問題や間違えた問題は1週間以内に解き直しをするようにしました。小論文模試は、添削者のアドバイスをその都度ノートにまとめていました。
- ⑨ とにかく最後まであきらめず自分を信じる事が大切だと思います。どれだけ努力しても、人一倍勉強していても、本番は必ず緊張します。その中で、いかに周りに惑わされず、今までに自分の頑張りを信じて力を出し切れるかが合否を分けるのだと痛感しました。努力する事は誰にでも出来ますが、それを継続する事は思った以上に難しい事です。自分を信じて粘り強く取り組めば、きっと結果は出ます！

終わりに

新型コロナウイルス感染症のため、この夏行われる予定の全国選手権大会が中止になりました。ここ数年、幸いにも大会に出場することができ、貴重な経験をさせてもらいました。今年はこのような状況ですので、中止は仕方がない思いながらも、大会が行われる近江神宮のこの時季の様子をふと考えたりしています。

（文責：進路指導部 池本 邦彦）